

事務事業評価&総合計画実施計画調査シート

コード	名称	区分	コード	名称	
事業名	117-1 美術展覧会運営経費(市民美術展覧会)	会計	01	一般会計	
基本	35 文化・芸術により、豊かな感性と創造性を育む	款	02	総務費	
施策		1 文化イベントの推進	項	01	総務管理費
			目	07	文化振興費
		細目	101	文化振興経費	
		細々目	02	美術展覧会運営経費	
基本計画該当頁		140		行革大綱の重点事項番号	
7					
担当部課	コード 040200	評価者	22 - 9624		
	名称 企画振興部文化国際課	氏名	森本 勝美	連絡先 (内線) 2120	

事業の計画・内容

対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
事業目的 絵画・写真・書道・彫塑・工芸各部門(造形芸術)活動に取り組む人 (※対象件数 )	市民の美術に関する関心を深め、作品を発表する場を提供することにより、芸術文化の創造に積極的に取り組む態度を養う。
根拠法令・要綱等 開始年度 平成 17 年度 終了年度 平成 年度	関連事業 事業内容 造形芸術等の有識者により運営委員会を組織し、事業計画及び運営を行った。 市内全域から作品を募集した。 ポスターを製作し、自治会掲示板、市内文化施設に掲示した。 審査会を実施し、審査結果入賞または入選した者を対象に表彰式を行った。 入賞、入選した作品、審査員の作品を展示した。 審査員による作品講評会を実施した。
状況変化等 平成17年度から絵画・彫塑・工芸・写真・書道の5部門により運営を行っていたが、平成20年度から彫塑と工芸部門を統合したため4部門となった。なお、運営委員数について平成18年度までは絵画・写真・書道は各2名、彫塑・工芸は各1名(計8名)であったが、平成19年度から部門の均整を図るため各2名(計10名)に増員したものの、部門の統合に伴い平成20年度からは8名に減員された。また、部門の統合に伴い審査員要綱の改正を行い、20年度においては審査員定数を絵画・写真・書道は各3名、彫塑工芸は4名とし委嘱している。	

整備内容

1 建設用地	千円
2 建設面積(延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	

運営体制

1 運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 民間委託等
委託先	人 千円
2 配置(予定)人員	
3 年間運営費	
4 市内の類似施設	

事業種別	継続	単独	事業類型	I	ソフト事業	2次評価対象分
------	----	----	------	---	-------	---------

事業実績

活動指標	単位	実績値		目標値	
		H18	H19	H20	H21
運営委員会	回	目標 2 実績 2	目標 2 実績 2	2	2
審査会	回	目標 1 実績 1	目標 1 実績 1	1	1
表彰式	回	目標 1 実績 1	目標 1 実績 1	1	1

評価指標

事業の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
			H18	H19	H20	H21
出品者数	造形芸術活動に取り組む人を増やす	人	目標 189 実績 158	目標 160 実績 175	180	180
来場者数	優れた作品を鑑賞する機会を提供し、造形芸術の向上を図る	人	目標 2290 実績 2194	目標 2200 実績 2238	2250	2250

評価

評価項目	ポイント	評価項目についてのコメント
必要性	4	造形芸術活動に取り組む人ならびに芸術に関心を持つ市民に、創作活動の発表の場と優れた作品を鑑賞する機会を提供し、造形芸術意識の向上を図ることは意義深く、行政として果たす役割は大きい。また、将来に亘って、幅広い層の市民を育成し、伊賀市の芸術活動を発展させるためにも事業を実施することは重要である。
有効性	3	造形芸術活動に取り組む人の創作意欲が高まり、活動内容がより一層向上する。また、造形芸術作品を鑑賞することにより、新たに活動に取り組む人が増加し、市民の造形芸術への関心が高まる。平成19年度は、出品者数、来場者数とも増加し、今後一層の拡大が期待される。
達成度	4	計画通りに達成できた。
効率性	3	芭蕉祭のポスター展等で使用しているパネルを利用し、経費削減に努めている。

総合評価	事業の方向性	改善についての取り組み
A	現状維持	市内全域からより多く作品が出品されるよう、さらに市民に周知、PRしていく。

進捗状況	年度	平成18年度 決算内容				平成19年度 決算内容				平成20年度 計画内容				平成21年度 計画内容				平成22年度 計画内容				平成23年度 計画内容			
		事業内容	数量	単位	金額	事業内容	数量	単位	金額	事業内容	数量	単位	金額	事業内容	数量	単位	金額	事業内容	数量	単位	金額	事業内容	数量	単位	金額
委託	事業内容	報酬			(千円) 84	報酬			(千円) 108	報酬			(千円) 120	報酬			(千円) 96	報酬			(千円) 96	報酬			(千円) 96
		報償費			501	報償費			521	報償費			527	報償費			450	報償費			450	報償費			450
工事	事業内容	備品購入費			103	その他			236	その他			300	その他			300	その他			300	その他			300
		その他			226																				
進捗率(%)																									
事業投入人員		人件費(B)	0.3	人	2,160	人件費(B)	0.3	人	2,160	人件費(B)	0.3	人	2,160	人件費(B)	0.3	人	2,160	人件費(B)	0.3	人	2,160	人件費(B)	0.3	人	2,160
フルコスト(A)+(B)					3,074				3,025				3,107				3,006				3,006				3,006

事業費(人件費除く)の財源内訳

(A) 事業費	914	865	947	846	846	846
国庫支出金						
県支出金						
地方債						
受益者負担						
その他						
一般財源	914	865	947	846	846	846
計	914	865	947	846	846	846
備考	その他特定財源の名称・補助基本額・率 地方債の区分と充当率等					